

令和元年度第7回まちづくりふれあい懇談会記録書

1. 日 時 令和元年 8 月 27 日 (火) 午後 6 時 30 分～8 時 12 分 (1 時間 42 分)
2. 場 所 潮見コミュニティセンター 2 F 中集会室 1・2 (洋室)
3. 出席者 一般出席者 11 人
4. 挨拶・説明
 - 18:30 開会
 - 18:30 市長あいさつ (3 分)
 - 18:33 町連あいさつ (3 分)
 - 18:37 新庁舎建設に関し寄せられたご質問やご意見等について (19 分)
 - 18:56 質疑応答 (46 分)
 - 19:43 地域 FM ラジオでの緊急防災情報の提供 (8 分)
 - 19:51 質疑応答 (3 分)
 - 19:55 ごみの分別に関する質疑応答 (13 分)
 - 20:08 その他質疑応答 (3 分)
 - 20:11 市長あいさつ (1 分)

【新庁舎建設に関して】

- 現在の人口が 3 万 5 千人、40 年度後人口が 2 万 6 千人程度と聞いている。今の庁舎よりかなり狭くてもスペースは足りるのではないか。大きいものが必要でないのなら現庁舎敷地での建て替えが可能ではないのか。50 億円かかるとの事だがこれは建物だけの金額か。

(市) 面積については、現在の庁舎は 6 8 0 0 m²ほどだが、新庁舎をどれぐらいの規模にするかは決めていない。言われた通り、人口減少を見込んで、事務のあり方、事務室の効率的な使い方を考えなければならない。議会棟についても議員 30 名いたときの物となっている。またパソコン主体の仕事となっていることも必要な執務スペースというものを見直しができると考えている。そういう観点で検討委員会でも協議をしていきたい。
- 引っ越しに数日かかることを考えると、パソコンは持っていけないと思うが、コンピュータ関連を新しく入れるとなればさらにお金がかかるのではないか。

(市) 電子データをどうやって移動させるかということも課題となっている。市役所のパソコンは、データを一元管理するという方式に切り替えていっている。起動するための機械は簡単に移動ができると考えているが、一元管理しているデータをどう移動するかということは、安全面を最優先して行う方法を検討する。具体的な方法が分かったところでご説明する。
- 高台地区に網走の人口の半分がいる。お店も高台の方が充実している。市役所を中心市街地にしても、にぎわいが増えることはないのではないか。

(市) 経済センサスという調査では、高台地区のお店は近隣の町村の利用を含めて維持が

されている。人口は1980年から2015年までに網走は13%減っている。近隣は27%減っている。加速度的に人口が減っている中で高台地区のお店が維持できるかという心配がある。2045年には網走と近隣3町の合計で38,000人と推計される中で、商業・サービス業に影響するエリアであると考えられる。

- 4条通りの商店街には他町村からの人は来ているのか。他市町村から魅力のない商店街ということではないか。人が減少する中で市役所が起爆剤となるのか。

(市) 中心市街地はほぼ市民の利用のみとなっている。バスターミナルの再整備など様々な動きが出てくるだろうと期待している。

- 潮見団地や大曲市営住宅でも作った時はお店もあって生活もできたが、今は潮見でも商店1店とコンビニがある程度で、買い物に不自由している。中心市街地はさらに不便だと思いが、それでも活性化できるのか。

(市) 街が二元化している現状だが、人口が減少していくときに行政を維持するためには、街を広げることはなく、コンパクトにしていくことになる。今ある既存の施設、官公庁、道路も含めて近いエリアの中で作り上げていくという考えである。

- 市としては下のエリアに全てまとめたいということか。住宅地もそうか。

(市) 都市計画のマスタープランではそういう考えになる。コンパクトシティと郊外地への繋がりをつくるのがマスタープランとして示している。

今のご意見は検討委員会でもしっかりと伝えていく。

- 昔は市役所周辺も店が多かったが、今は数えるほどしかない。4条通りも同じだと思う。4条通りを活性化しようとするのは考えがズレているのではないか。誰も活性化するとは思っていない。

(市) ご意見として受け止める。網走川の北側と南側を中心市街地というエリアで捉えている。厚生病院、警察署、オホーツク総合振興局庁舎など他の機関も含めた視点をもっている。

- 金市館ビル跡地周辺は古い建物が多く、大きな地震がきて建物が崩れたら、市役所が避難所とならないのではないか。

(市) 昼間は中心エリアに1万人の人がいる。就業している人の7割が中心エリアで勤務している。あくまでも1次避難所ということで、高齢の方が高台まで行けない方は市役所に避難してもらおうといったことを想定している。

- 洪水を想定すると、川の北側も南側も危険を感じる。崖崩れも想定されるのではないか。津波はさらに危険なエリアではないか。防災面で視察はしたことがあれば、どういった内容だったか教えてほしい。

(市) 登別市の学校を視察した。海沿いにある学校で、地域住民の避難施設を兼ねている。津波が来た場合には、蹴って開けることができる非常扉、上の階に非常用電源、非常食の備えなどがあり、地域住民が津波が引くまでの何日間か避難できるような施設と

なっていた。庁舎の視察は行っていない。

- **中心エリアの方の一時避難、向陽地区が孤立化することも考えられる。防災の面で金市館ビル跡地周辺が本当に良いのか。その次に商店街の活性化を考えるべきではないか。**

(市) 各地域でいただいているご意見である。津波、大雪、崖崩れなど様々な災害があり、どこまでリスクを小さくできるか、命をどれだけ助けられるか、そのために機能はどこの方がいいのかなど様々考えなければならない。最終的にはどこかに決めなければならない。比較をして考慮して決める。場所を決めなければ次が決められないこともあるので、財政支援が受けられる時期を目途に逆算して議論を詰めていく必要がある。

- **聞いた話だが、昔、市役所の下の方の五社屋のところまで津波がきたことがあると聞いた。**

(市) 大正年代の話だと思うが、高潮と強風による水害という記録がある。モヨロ貝塚の地質調査結果では、1300年間津波の被害はないということは間違いない。東日本大震災のこともあるので想定はしなければならない。少しでも命を助けることを考えれば高層の一時避難機能は持っておきたい。

色々考えなければならぬので、比較して、推し測って、考慮して決めていかなければならない。今までの計画の流れから市役所はどうあるべきか、不安をどうしたら良いかという議論を積み重ねる必要がある。

- **2月に案を示されて、市民の間で関心が出てきているところである。1年ぐらいかけて議論する必要があるだろう。**

市民アンケートをやる意味は大きいと考えるが、アンケートはやらないのか。

(市) 1年後には諮問した結果が出ると考えている。構想編と計画編を決めるのに1年。場所が決まらなると、機能や大きさを決められない。そういったことを全部含めて1年ぐらいはかかるだろうと思っている。

今日お示ししたものは全ての意見ではない。公式サイトに全て公開しているが見れない人も居るので、見れる方策を今検討している。議事録をすぐ見れるような場を作り、どうするかという事を考えたい。

アンケートを取って、意見が多いからそれを採用するというのではなく、市が考えたことを説明し、それに対してどう考えるかということが重要であり、そのために公式サイトで示してフィードバックしてもらおうということが必要と考えている。閲覧用に一式を市内何か所かに備え付けることを検討している。

- **検討委員会のスケジュールで、いつ場所を決定するかということは決まっているのか。**

(市) 計画編まで含めて答申をしてもらうことを考えているが、場所の決定を次の会議でどうしても決定するとは考えていない。まちづくり懇談会での意見を検討委員会に報告して、また議論してもらう必要がある。

- **建設場所も大事だが、防災、財政など様々な意見があるはずなので、それらを含めたスケジュールで進めてもらいたい。**

(市) 場所が決まると具体的な話がでてくる。ご理解をいただいた中で進めていかなければ

ばならない。

説明会やまちづくり懇談会の内容は議事録としているが、議会にもみていただいて、理解をいただいて、それを踏まえた議論をしていただく。

検討委員会の議論と、それを踏まえて議会の議論を同時進行的に進めていく。

間違っただ意見があるわけではなく、正しいものを一つにまとめるために、比較して理解が得られるように方向感を決めていくことになる。予算や契約行為のためには、来年の9月か12月には決定しなければならない。

- 時間が一年しかない中で、逆に考えてはどうか。お金はこれだけ、面積はこれだけ、避難機能はこれが必要という事を決めて、どこが適地かということを検討してはどうか。大津波がきたら北地区は分断されるのではないか。

(市) 議論の比較が必要なことだと思う。これからのあるべき庁舎はどういうものかということ色々な意見を比較、考慮して決めていかなければならないと思う。貴重なご意見だと思う。

- 今年2月の全体会議で、候補地を発表したのは唐突な話に聞こえた。

(市) 去年の夏には、庁舎を優先させてもらうということを決めていた。

2年前から耐震化の議論を始めているが、ある程度の方向感を出していかないと議論が進んでいかないとと思っている。

- まちづくり懇談会を9会場、説明会を50会場以上やっても、市の人口の半分にも遠く及ばない。「検討したから押し切らせてもらう」という姿勢も必要ではないか。市民は関心がない。

(市) 3万5千人の意見を集約として、1000人に説明会をして意見を聞いたということが、それでは足りないということかもしれないが、今後も意見は聞いていく。